

## 専門技術員試験を受けよう

農業技術経営課 月岡

<http://www.agri.gr.jp/plant>

tsukioka@sco.bekkoame.ne.jp

### 1 専門技術員試験受験にあたって

10年間以上、普及員をやってきたという自惚れを試そう。

新しい21世紀の普及論という持論の展開というスタンスで受けてみてはどうか？

### 2 専門項目選択と答案用紙作成にあたって

とりあえず資格をとって自信をつけたい貴方へお奨め必勝分野

「病害虫」を受けてみよう。答案がオーソドックス、丸暗記系の出題あり、この分野を避けて通れた普及員はいないはず。もぐりでもなければ、必ず合格する（と思われる）

参考文献：植物防疫（月刊誌）、農薬科学用語辞典、農薬毒性の事典

自分の持っている普及論を披露したくてしたくてしょうがない貴方へ最適な分野

「普及指導活動」を受けてみよう。過去、ほとんど同じ課題が出たことはないので、勉強しなくても結果は同じ。勉強する時間があるなら、自分の活動に対する農業者の方々の評価をきちっと記録しよう。その記録そのものが答案だ！ 時間内に起承転結が成就すれば合格間違いなし！

参考文献：やらなきゃ損する農家のインターネット産直（富田きよむ氏）

一枚の田の前に立って（京 啓一氏）

イノベーション普及学（E.M. ロジャース氏；訳本）

専門技術員資格試験とは何や？

試験課題という表現は答案用紙にない。 実は「審査課題」、すなわち模範解答なし。

自信を持って書きましようや！ いい意味での開き直りが大事。

基礎となる5W1Hプラスアルファを表現すればよい。

ほなプラスアルファとは何や？

自分はどんな普及員か、自分はどんな考えで活動しているのか、どんな活動をしたいのか、どんな農業者の方々とおつきあいしてきたか、その中で自分がどのように変化していくか、いい方向に変化できたか、変化できていないなら、それはなぜか、など、様々な事項について、それらを農業者の方々との関係性を表現するなかで書いてみる。単なる主義主張を書き連ねるより、農業者の方々の動きに合わせた主義主張を書くべき。プラスアルファを自分なりにまとめていく手段としては、例えばメーリングリストなどでの書き込み、ホームページ上での表現など、以前と比べて、主義主張をまとめていく「場」は飛躍的に増えている。結局、この場を自分なりに活かすかどうかであると思われる。改めて、勉強という時間もなかなか

とれないのではと思われるが、どうかな？

自己紹介の延長でよい。

仕事上、新任地で初めて農業者の方々の前で自己紹介を行うと仮定して、そのとき、どんな内容を話せばよいのか、音声で吹き込んでみる。それを紙におこすと、枚数も把握できる。

自分以外が聞いて、よくわかる内容かどうかを身近な人間に判断を仰ぐ。聞いてわからない場合、内容の伝え方が悪いのか、それとも、内容そのものがよくわからないのか、を判断する。小学生が理解できるほど、普及活動の本質を自分なりに表現できるかな？

5W1Hを表現するときに私はこう書きました

- ・なるべく時系列に書ければよいと思う。時系列に並べるのは、対象の農業者（組織、集団、集落、産地等）の動きと重ねた普及活動、もしくは、自らの普及活動そのものの時系列化、いずれかでどうだろう。
- ・普及は継続性が非常に重要。自分だけで仕事が遂行できたのではない、と書いたほうがよいと思う。併せて、前任者が十分仕事をしてくれた上での実績である、と書いたほうがよいとも思う。また、3年後に結果が出てくれ、と仕込んでおく活動も必要だろう。
- ・独りよがりにとられかねない表現は、せつかくの力作を打ち消す方向に働く。
- ・普及は、高度なモチベーションを持ったプレイヤーが集まったチームプレー（理想）
- ・新技術などは、必ず経営的な視点を入れて表現しよう。数字は必ずしも必要でないと思うが、経営的な根拠を示しながらの普及ということを強調しておいたほうがよい。経営的に寄与しないなら、使わないというのも一つの篤農技術では？
- ・成功事例だけが答案じゃない。成功事例など、ごろごろ転がっているはずもない。失敗したことを踏まえて、こう改善した、農業者の方々がこういう風になりましたという表現の方がよほど説得力がある。
- ・農業者の方々へはどんな情報を出してもよい、しかし、普及員は対象農業者の方々の最終判断に影響を及ぼせる存在であればよい。情報は受け手が判断すべきである。普及員の判断で、取捨選択してはいけない。
- ・「起承転結」別に書き込む枚数をある程度振り分けよう。「起」は漫才でいうつかみ、一見派手目がよい？ 「承」は自分の普及活動の5W1H、「転」は農業者との関わりを農業者の自身の言葉を直接引用する形で簡潔に書こう。「結」はさび、どうしたい、こうしたい、専門技術員になったらこうしたいをストレートに短く書いた方がよい。
- ・全体を通して、冗長な文章は試験委員に対する受けが非常に悪い。短文でつなごう。句読点に気をつけよう。端的な日本語で表現しよう。第三者的な表現が最もヤバイ・・・併せて、絶対にネガティブな表現をしないこと。

5W1Hに織り込んで書いた方がよい可能性のある課題（テーマ）を自分なりに表現しよう！

- ・ 技術的な内容について 簡単に書いてもよいが、自分なりの理解を表現する必要あり。
- ・ 試験前に自分なりに考えをまとめておきたいテーマの例を以下に列挙します（順不同）  
環境保全型：

有機栽培・農産物：  
精緻農業：  
展示圃・調査圃・実証圃：  
合成性フェロモン：  
減農薬栽培：  
難防除病害虫：

・社会的な事項との関連内容 疑い深く、しかし大胆なすばった表現で！

これまた模範解答がありそうで、実は存在しないのだ。

マーケティング：流通じゃない。農業者の方々と普及員が一緒になって、丹精込めて作られた農畜産物をどの手段で、自分の売りたい価格で、どうやったら売れるのかを真剣に考えるのがマーケティングだ。

消費者ニーズ：

産地間競争：

地産地消：

グリーン・ブルーツーリズム：

食農教育：

ラベル偽装：

加工：

望ましい農業者像：

望ましい普及員像：

これからの普及活動：

内部評価・外部評価：

各県独自の農作物認証制度：

認定農業者：

農業士制度：

新規就農者：

定年帰農者：

農業情報：

ホームページ：

専門技術員：あてにされるか、されないか、それが全て。後釜は自分で探す。されないのなら、潔く身を引くのみ

健闘をお祈りします m(\_ \_)m

最終更新：05/24/2002